



会報第156号
 令和6年7月31日発行
 阿戸地区社会
 福祉協議会
 広島市阿戸福祉センター内
 電話 856-0294

阿戸町の世帯・人口
 世帯数 923戸
 人口 1,881人
 男 911人
 女 970人
 (令和6年5月末現在)



令和6年6月8日(土)、雨の中開催された 2024「竹あかり&ほたる祭り」 4面に関連写真掲載

就任にあたって

阿戸地区社会福祉協議会 会長 越智 三千彦

この度、阿戸地区社会福祉協議会の会長に新たに就任しました越智三千彦でございます。

これまで、池田前会長が地域福祉の向上と発展のためにご尽力されましたことに深く敬意を表しますとともに、その意思を尊重し継承できるよう、地域が抱える福祉課題に微力ながら取り組んでいく所存でございます。

さて、近年、諸外国にも例を見ない急速な高齢化社会を迎え、地域社会を取り巻く状況が大きく変化し、それにより福祉ニーズはますます多様化・複雑化しております。

こうした中で、地域福祉を推進する中核的な団体としてだれもが安心して暮らせることができる福祉のまちづくりを使命とする社会福祉協議会といたしましては、全ての皆様が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向けていく所存でございます。

「住みよいまちづくり」に向けて、微力ながら頑張りたいと思いますので、前任者同様に皆様のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

「令和6年度事業計画・予算について」

阿戸地区社会福祉協議会 事務局長 林 文明

令和6年4月25日に阿戸福祉センターにて開催された評議員会で阿戸地区社会福祉協議会の令和6年度事業計画と予算が承認されました。

令和6年度は引き続き広島市社協が推進しております「新・福祉のまちづくり総合推進事業」は、「みんなでつくる支えあいのまち」をスローガンに、「近隣ミニネットワークづくり」「ふれあい・いきいきサロン設置推進」「地域ボランティア活動推進」の各事業により構成されます。今年度も各種事業の実施に取り組みます。各種団体や

令和6年度 阿戸地区社協 予算状況 (円)

収入の部	予算項目	本年度予算額	比率	前年度予算額
収入の部	正 会 費	284,800	15%	143,400
	賛 助 会 費	100,000	5%	100,000
	補 助 金	580,000	31%	430,000
	寄 付 金	50,000	3%	100,000
	繰 入 金	350,000	19%	0
	雑 収 入	28,439	2%	7,158
	繰 越 金	486,761	26%	939,442
合 計	1,880,000	100%	1,720,000	

支出の部	事業費	比率	前年度	
支出の部	事務費	140,000	7%	145,000
	総務費	190,000	10%	190,000
	広報費	200,000	11%	200,000
	地域福祉費	370,000	20%	360,000
	高齢者福祉費	490,000	26%	440,000
	ボラ・推進費	100,000	5%	100,000
	児童等福祉費	150,000	8%	150,000
	障害児者福祉費	60,000	3%	60,000
	備品費	150,000	8%	20,000
	予備費	30,000	2%	55,000
	合 計	1,880,000	100%	1,720,000

近所の方々が一体となって一人暮らしや病弱などの高齢者の方に対し、声掛け、見守りを行い、共に支え合う地域社会づくりを目的とする「支え合いあーとネット」のさらなる充実に務めます。また、スタートから6年目を迎える「あと協力隊」の利用者の拡大、サービスマ提供ボランティアの増加に努め、円滑な運営を目指す福祉教育と世代間交流事業子育て支援等も引き続き取り組みます。これらを着実に実施するため、別表の通り予算を計上しております。

「令和6年度活動方針」

児童・障害児者部会 田中 秀昭 部会長

児童・障害児者部会では、子育て事業を柱として地道に進める中で、学校サイド・民児協・部会員と綿密な協議を行い、地域の方たち、先輩方の協力を得ながら各事業を実施してまいります。

具体的には、

- ① 世代間ふれあい事業として「子どもと地域の人とのフロアカーリング交流会」「中学3年生と地域の人との交流会」「中学1年生とのしめ飾りづくり」
- ② 障害児者の理解と仲間づくり事業として「親子の集い」
- ③ こんにちは赤ちゃん事業として「親子に絵本を贈る」
- ④ 児童・生徒への福祉活動として「入学記念品・卒業記念品の贈呈」

これらの事業を通して、児童・生徒がたくさんの人達と接し、色んな会話の中から「福祉の心」を醸成していくために、見直し工夫しながら進めてまいります。

「令和6年度 役員・評議員」

役職・名前・所属部会(◎は部会長)・出身団体 (役職別に五十音順・敬称略)

◆ 会 長 越智三千彦 ◎地域 学識経験者

◆ 副会長 松田 英子 児童 民生委員・児童委員 協議会

◆ 理 事

植片 洋幸 地域 連合町内会(第3区)

児玉 攻 ◎高齢者 老人クラブ連合会

下河 啓一 児童 連合町内会(第6区)

下條 孝志 広報 小中学校PTA

田中 秀昭 ◎児童 連合町内会(第5区)

出張 晴夫 広報 連合町内会(第1区)

林 文明 ◎事務局 青少年健全育成連絡協議会

久光 肇 ◎広報 体育協会

堀内 直子 地域 女性会

松田 康憲 高齢者 連合町内会(第4区)

道村 義憲 高齢者 連合町内会(第2区)

横山 吉史 地域 学識経験者

◆ 監 事 竹廣 潔 児童 体育協会

宮野 清貴 高齢者 連合町内会(第4区)

◆ 評議員 小野ヨシ子 高齢者 民生委員・児童委員 協議会

景山 守之 地域 連合町内会(第5区)

川崎 忠文 児童 連合町内会(第2区)

川崎富美子 高齢者 女性会



福祉活動に関わる関係機関・団体等との連絡を密にして、地域福祉活動事業の円滑な推進に努め、地域包括ケアシステムの一端を担う活動を行います。主な事業として、

(1)「地域福祉懇談会」の開催
地域福祉活動の啓発と社協への要望等をお聞きする機会を設けます。

(2)「いきいきサロン」の開設
今年度から新規に2サロン発足し、12サロンについて活動支援を行い、新規サロンの開設を目指します。

(3)「活動助成」
各町内会単位でのネットワーク強化の助成をします。

(4)その他
地域団体連携支援基金事業費助成金を受けて事務所機能を向上させるとともに、各種団体の活動支援を行ないます。



①ボランティア交流会の実施
ボランティア登録サロンや

個人サロンの皆様に支援する活動としてボランティア交流会を7月25日(木)に実施する予定で準備を進めています。毎年講師をお願いして1時間位のお話を依頼しています。今年度は「笑いヨガ&マジック」をテーマとしてNPO法人の方に依頼しています。その講演の後、1時間参加者が6つのグループに分かれボランティア活動を活発にするための意見交換やその他の自由な討論を予定しています。

②住民福祉講座の実施

地域住民の皆様には福祉活動への理解を深めてもらうため、8月と9月に住民福祉講座を開催しています。6月の後半からテーマの選定や講演依頼先の検討を始める必要があります。テーマについては毎年似たものが多くなり、選定が難しくなっています。

③世代間ふれあい交流会

毎年3月には80歳以上の一人暮らし、二人暮らしの高齢者の方と子ども園の園児の参加による「ひな祭り交流会」を実施しています。園児製作の展示物や園児の演技を見てもらい、楽しいひと時を過ご

④老人クラブ連合会への助成

友愛活動や「いつまでも元気な老人」活動を行っている老人クラブへの活動助成も行っていきます。



広報部会では、今年度も阿戸地区社協の社会福祉活動や、社会福祉協議会が開催する諸事業に対する理解や、ご参加を得るために、広報、啓発活動を行います。

そのために、各機関で開催された行事の内容を、町民の皆様にお知らせする会報「あと社協」を、年3回発行いたします。又、紙面の充実をはかり、賛助会員を含み、全会員に配布いたします。

皆様に喜ばれる「あと社協」の発行に、広報部会員一丸となつて、広報活動に取り組んでまいりますので、皆様からの、ご協力、ご支援をよろしくお願いたします。

桐野 直子	児童	民生委員・児童委員協議会
小林 絃子	高齢者	小中学校PTA
小森 崇	広報	青少年健全育成連絡協議会
迫 賢治	高齢者	老人クラブ連合会
佐々木貴之	児童	小中学校PTA
下河 一宏	広報	連合町内会(第6区)
鈴政 良男	広報	防犯組合
住田 彰吾	高齢者	連合町内会(第1区)
根石友里江	児童	ボランティアグループ
古井 智子	児童	民生委員・児童委員協議会
三山真由美	地域	民生委員・児童委員協議会
宮脇 保	広報	連合町内会(第3区)
向井フクミ	地域	民生委員・児童委員協議会

〈お世話になりました〉
令和5年度をもって退任された方々です。ありがとうございました。

◆会長	池田 正裕	◎地域	連合町内会(第3区)
◆理事	出口 勝紀	◎高齢者	ボランティアグループ
◆監事	植片 洋幸	地域	連合町内会(第3区)
◆評議員	迫口 真生	児童	ボランティアグループ
	田部 義光	高齢者	民生委員・児童委員協議会
	長谷川 進	広報	連合町内会(第1区)
	前中 琴衣	高齢者	小中学校PTA
	宮野 清貴	高齢者	連合町内会(第4区)

♥賛助会員募集のお願い♥

今年度も引き続き、賛助会員を募集しております。頂きました賛助会費は、「福祉のまちづくり」のため、有効に使わせていただきます。皆様方のご協力をお願いいたします。

一口 5千円
申し込み先
阿戸地区社会福祉協議会

(阿戸福祉センター内)

昨年度(令和5年度)の賛助会員となられた方々は次の通りです。ありがとうございます。

●阿戸町内 (順不同、敬称略)

- 特別養護老人ホームくにくさ苑
- 介護老人保健施設りは・くにくさ
- 平垣内組(株)阿戸営業所
- 米吉食品
- 広島阿戸郵便局
- (株)エムテック
- (株)アンドー

- 安芸メタル工業(株)
- 社会福祉法人無漏福祉会あとの郷
- 阿戸地区民生委員児童委員協議会
- 広里工業(株)
- (株)TODA
- (有)中本興業

- 芸州運輸(株)
- 西日本レジコート(株)
- 阿戸町外 (順不同、敬称略)

- ひろしま農業協同組合萩原支店/熊野町
- (株)アイオイ保険センター/東広島市
- 安芸交通(株)/熊野町
- ひまわり印刷(株)/海田町

今年金婚式を迎えられるご夫婦をお祝いします

阿戸地区社協では、結婚以来50年の永きに亘り、お互い労わり合い、励まし合って家庭の隆昌及び地域社会に貢献されたご夫婦を、11月22日(いい夫婦の日)にお祝いをいたします。

昭和49年1月から12月までに婚姻届を提出されておりますご夫婦は、各区町内会長又は担当民生委員までお申し出下さい。詳細は後日お知らせいたします。



竹あかり&ほたる祭りの様子

●阿戸地区社協のつぎ

- 11/22 金婚祝い慶祝訪問
- 10月 福祉教育推進会議
- 9月 第2回住民福祉講座
- 9/14 敬老会
- 8月 第1回住民福祉講座 (今後の予定)
- 7/31 「あと社協」156号発行
- 7/25 第2回理事会
- 7/7 ボランティア交流会
- 7/6 地域福祉懇談会(第4区)
- 6/30 地域福祉懇談会(第1区)
- 6/29 地域福祉懇談会(第6区)
- 6/29 地域福祉懇談会(第3区)
- 6/22 地域福祉懇談会(第5区)
- 6/15 地域福祉懇談会(第2区)
- 4/25 第1回評議員会
- 4/18 第1回理事会
- 4/11 監査会

お気軽にご相談下さい

第1・第3金曜日午前中(祝日除く)
阿戸地区社協では、皆様の困りごとやボランティア活動の相談に応じています。

- 掃除機かけ
- ゴミだし
- 庭の草刈り

ボランティアコーディネーターがお待ちしております!



善意の灯

次の方々から、ご寄付をいただきました。この善意は住民福祉活動のため、有効に活用させていただきます。

ご厚志、まことにありがとうございます。

◆香典の返礼にかえて

- 藤岡 道善 様
- 奥浦 政幸 様

編集後記



あと社協(会報)は、西暦1976年8月に第1号が発行されて、現在にいたっております。この間、諸先輩のご努力により紙面の充実がはかられてきました。今後も、各関係先との連携を取りながら、広報部会員一同広報活動に取り組んでまいりますので、皆様のご協力と、ご支援の程よろしくお願いいたします。

(広報部会 久光 肇)